

## ごあいさつ

私たちの今日の物質的繁栄は、産業革命以来培われた高度な大量生産技術によってもたらされました。しかし、これは、資源とエネルギーの大量消費という負の側面を持っていたため、私たちに続くこれからの世代にも深刻な影響を及ぼす地球規模の環境問題を引き起こすことになりました。

21世紀を迎え、地球温暖化防止に関する国際会議(COP7)では京都議定書の2002年発効に向けて合意に至るなど、環境問題に対する国際的な取り組みが推進されています。

我が国では、改正リサイクル法や廃棄物処理法の強化など環境関連法規の制定、改正が相次ぎ、これまでも増して法律遵守の取り組みが求められてきています。

このように環境問題はこれからの企業活動にとって、益々重要な課題となっており、循環型社会の形成に向けての取り組みを一層強化していく必要があります。

また、情報流通の進展は、人や物・情報の移動を効率化し環境負荷の低減に寄与することから、IT革命が世界的規模で進む中、NTT西日本の果たす役割は極めて大きいものと認識しています。

IT技術の活用により、社会経済活動をより効率化し、環境負荷を低減するとともに、廃棄物の不法投棄の防止や環境行政の効率化にも寄与できるものと考えています。

一方、ブロードバンドサービスやiDC(インターネットデータセンター)の運営等における旺盛な通信需要による電力消費量の増大や、電話帳における紙資源の消費など、弊社の事業活動による環境への負荷は決して小さいものとは言えません。このため、弊社としての行動計画目標を定め、この目標達成のための実行管理プログラムを着実に実践していくことによって、継続的な環境負荷低減に努めていきます。

本報告書は弊社の環境保護に対する取り組み方針、活動状況などをご報告申し上げるために発行するものです。この報告書をご一読いただき弊社の環境保護活動に対するご理解を頂くとともに、ご意見等をお聞かせいただければ幸いです。

2001年11月



代表取締役社長

浅田和男